

学位プログラム DP レビュー

2022 年度 社会福祉学科

1. 現況の説明

①授業実施評価レポート

成績評価アンケートは、社会福祉学科開設科目において、4つの視点（透明性・客観性・妥当・公平性の不足する科目）について、90%以上が「なかった」と回答しており、概ね良好であった。しかし、成績評価の方法については、教務共通教育部会の指摘を踏まえ、シラバスに記載した評価内容や評価方法を学生が理解できるように、担当の教員が各科目の初回授業等で説明を行うことにした。

成績分布については、社会福祉学科専門科目全体では、大きな問題はなかった。一方、受講者数については、5名以下の受講生が続いている科目が1科目あり、これまでも開講年次の変更等の対応を行ってきた。しかし、状況が変わらないことを踏まえ、2022年度をもって廃止することを決定した。なお、当該科目の内容は福祉専門職特講に含め、学生に教授する機会を確保する。

②DP アンケート

DP アンケートの結果は、社会福祉学科専門科目における全項目の平均値が4.6であり、大学入学時と比べた学習到達度は、比較的高い傾向が示されていた。特に、ゼミ（「社会福祉学演習」、「卒業論文」）や実習（相談援助実習、精神保健福祉援助実習、学校ソーシャルワーク実習）では、平均値が4.7と最も高くなっており、学生が意欲的に取り組むことができたことが示された。

③進路・資格試験・留年・退学状況

卒業生の進路としては、就職率100%であり、良好であると言える。

就職先については、社会福祉施設等が24名、病院・医療施設が10名、官公庁等が8名、民間企業・団体等が4名、大学進学が1名であった。社会福祉施設等に就職した24名の卒業生は、社会福祉法人が運営する社会福祉施設が16名、市町村社会福祉協議会が2名、株式会社が運営する社会福祉施設が4名、特定非営利活動法人が運営する社会福祉施設が2名であった。また、病院・医療施設に就職した10名の卒業生のうち9名は、病床規模が100床から499床までの「中病院」、1名は99床までの「小病院」に就職していた。卒業生の72.3%（34名）が、医療・福祉系に就職していた。

以上の進路は、本学科の実践力あるソーシャルワーカーを養成するという設置目的と一致している。

留年については2名であり、留年者数は減少している。そのうち1名は留学により、資格取得に必要な科目を取得できなかった学生であり、もう1名は卒業論文の提出を半期遅らせた学生であった。

令和3年度における退学者は、3名であった。進路変更による退学者が2名、病気療養のため退学に至った学生が1名であった。今後も、学科の教員と学生相談室、学生支援班、教務入試班の各部署間で密に連携し、不本意な退学を避けるための支援を行っていく。

資格試験の合格率については、社会福祉士 73.3%、精神保健福祉士 90.9%であり、全国の平均（社会福祉士：31.3%、精神保健福祉士：65.6%）を上回っていた。

2. 2021年度対応プランの結果

①の成績評価の方法について、シラバスに記載した評価内容や方法を学生が理解できるよう担当教員が各科目の初回授業等で説明を行った。しかし、今回の成績評価アンケート結果によると、1・3年生において透明性や妥当性が不足する科目があったという回答が他学年より若干多かった。また、受講者数5名以下が続く科目については、担当教員が授業の見直しをすることにしてはいたが、受講者がいなかったため対応の結果を明らかにすることはできなかった。担当者が退職することもあり、本科目は廃止し、福祉専門職特講のなかでその内容を教授することにした。

③の留年については、新年度オリエンテーション時に資格必修科目の説明・確認を行うとともに、履修状況に課題のある学生に対する早期指導を行った。その結果、資格取得に必要な科目の取得ができなかったことによる留年はなかった。また、不本意な退学を避けるために各部署間の連携、支援を行った。その結果、不本意な理由での退学は見られなかった。

3. 今回の課題と対応プラン

①の成績評価の方法については、引き続き、担当教員が各科目の初回授業等で、シラバスに記載した評価内容や評価方法を学生が理解できるように説明を行うとともに、学生からの質問等に積極的に応じていくこととする。

③の留年について、社会福祉学科は、資格必修科目が多いことが留年者数に影響しやすいと推測できることから、新年度のオリエンテーション時にカリキュラムツリーを示し、資格必修科目について説明・確認を行うことを継続する。さらに、履修状況に課題のある学生については、教務担当やアドバイザー教員等による指導を早期に行うことで、学修の遅れによる留年者数を減少させる。

3. DP 達成状況のまとめ

以上、本学位について、成績分布や学生の成績評価アンケートの結果も特に問題がなく、学修状況は良好であるといえる。また、DP 全体としては一定の達成状況にあり、特に、実習やゼミ等

を通して、「ソーシャルワーカーとしての専門性を高めていく意欲・態度」は高いことが示されている。今後は、さらに「根拠に基づいた考察力」や「論理的な表現力」を強化していくことによって、一層の充実を図る。

添付資料：「D P アンケート」

[「進路、資格試験、留年、退学状況\(資料はこちらをクリック\)」](#)

「授業実施評価レポート」

社会福祉学科ディプロマ・ポリシーアンケート結果報告

1.ディプロマ・ポリシーアンケートの結果

質問項目	平均値
1.社会福祉の原点となる人間の自由と尊厳、人権、社会正義に関する知識を身につけることができた。	4.6
2.社会学や心理学などの人間と社会に関する隣接諸科学の知識を身につけることができた。	4.6
3.社会福祉学科専門科目の講義をとおして、社会保障・社会福祉の制度・政策およびソーシャルワークに関する専門知識を理解することができた。	4.7
4.社会福祉学科専門科目を受講したことにより、社会福祉およびそれに関連する諸問題を文献や資料などの根拠に基づいて考察することができるようになった。	4.6
5.ゼミ（「社会福祉学演習」「卒業論文」）をとおして、社会福祉およびそれに関連する問題に対して自分なりの問を立て、考えを整理し、発表することに意欲的に取り組むことができた。	4.7
6.「卒業論文」をとおして自らが主体的に設定した社会福祉に関わる課題について探求し、その成果を論理的に表現することができた。	4.6
7.各実習（相談援助実習、精神保健福祉援助実習、学校ソーシャルワーク実習）に対して、社会福祉およびそれに関連する諸問題に関心を持ちながら、意欲的な態度で取り組むことができた。	4.7
8.卒業後もソーシャルワークの専門性を継続的に高めていこうと思っている。	4.7
9.実習（相談援助実習・精神保健福祉援助実習・学校ソーシャルワーク実習）をとおして、基本的なソーシャルワーク・スキルを習得することができた。	4.6
10.ゼミ（「社会福祉学演習」「卒業論文」）をとおして社会福祉に関する諸問題について、先行研究や各種の資料を適切に収集し分析することができるようになった	4.5
全項目平均値	4.6

自由回答

1. 演習などでより分かりやすかった。
2. 少人数で学べるのが良い。

2.結果について

全項目の平均値が4.6であり、大学入学時と比べた学習到達度は、比較的高い傾向が示されています。特に、ゼミ（「社会福祉学演習」「卒業論文」）や各実習（相談援助実習、精神保健福祉援助実習、学校ソーシャルワーク実習）は意欲的に取り組み、卒業後の継続的な専門性の向上に対する意欲にもつながっていることが分かります。

授業実施評価レポート

2022 年度 人間社会学部社会福祉コース

1.2021 年度の状況

①成績評価アンケート

社会福祉学科開設科目では、4つの視点（透明性・客観性・妥当・公平性の不足する科目）について、「いくつもあった」と回答した者は0名であった。また、90%以上が「なかった」と回答しており、全体的には良好であった。しかし、学年別にみると、1年生および3年生において、「透明性が不足する科目」、「客観性が不足する科目」、「妥当性が不足する科目」が「1つ2つあった」と回答し、他学年よりも若干多かった。また、自由記述においては、授業課題やレポート課題の意図を理解できなかったという意見があった。

これらのことを踏まえ、教務共通教育部会からは、シラバスに評価方法を記載しているが、授業内でも再度確認する必要性を指摘された。

コース会議での検討の結果、全体として結果は良好であるため、現状の対応で特段問題はないと結論づけられた。しかし、成績評価の方法については、教務共通教育部会からの指摘を踏まえ、授業内で説明をし、学生の理解を促すこととした。

②成績分布及び受講者数

成績分布については、社会福祉学科専門科目全体では、大きな問題はなかったが、成績Sが受講者の3分の2を超えていた科目が、2科目あった。そのため、教務共通教育部会から、評価方法や成績評価方針について確認を求められた。

コース会議にて担当者に確認を行ったところ、1科目については、履修人数が例年より少なく、履修学生の成績が優秀であったため、この科目については問題ないと考えられる。もう1科目については、退職者の担当科目であったため、次年度以降、新規担当者による成績分布の状況について確認をしていくことにした。

また、2021年度単位取得者数が0人の科目が1科目あり、ここ数年受講生が5名以下であることが続いていることも指摘された。教務共通部会からの指摘を踏まえ、コースとして、科目の必要性等について検討した。

2. 2021年度の対応プランに基づく対応結果

①成績の評価については、シラバスに記載した評価内容や評価方法を学生が理解できるように、担当の教員が各科目の初回授業で資料を配布するなどして、成績評価の内容や方法を説明した。

また、授業期間中に学生からの質問に個別に対応した。

②5名以下の受講生が続いている科目については、2022年度も履修者がいなかったため授業内容の見直しができなかった。状況が変わらないことを踏まえ、科目の廃止を決定した。なお、当該科目の内容については、福祉専門職特講などに含めて学生に教授する機会を確保することにした。

3.対応プラン

①成績評価については、シラバスに記載した評価内容や評価方法を学生が理解できるように、担当の教員が各科目の初回授業等で説明をする。

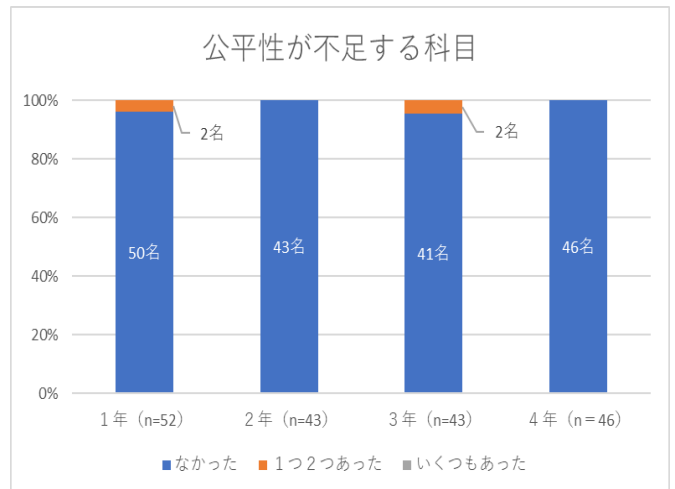
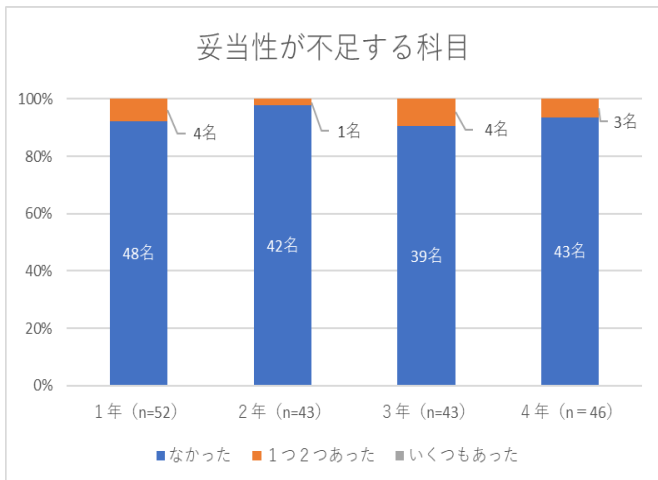
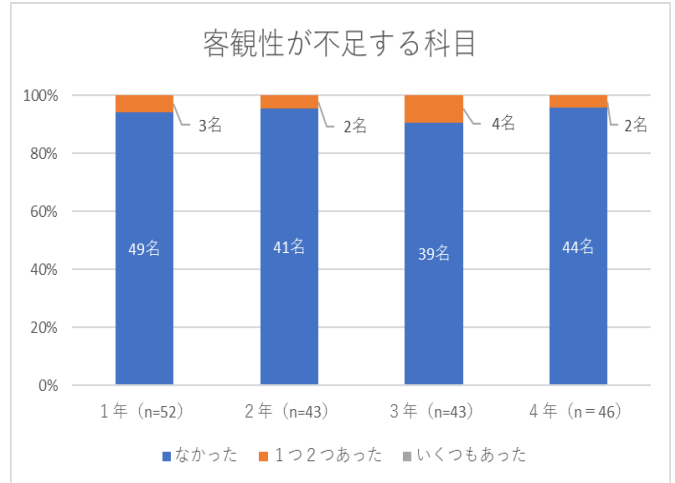
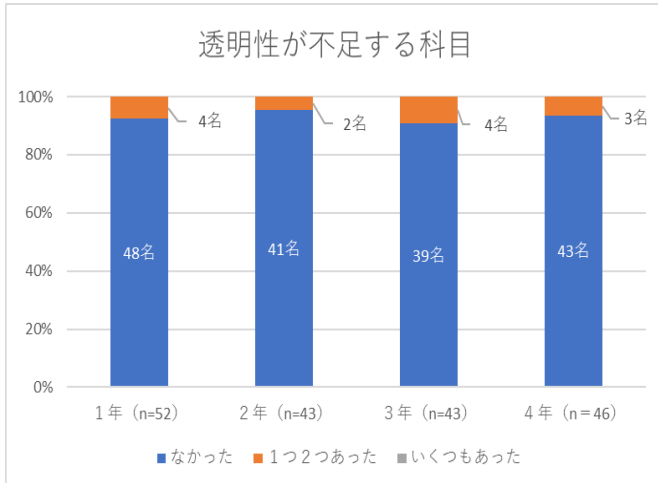
②成績分布について、全体的としては現状の状態を維持できるよう、各科目担当者が評価方法および評価方針について継続的に点検していく。退職者が担当していた科目については、新たな担当者により授業内容の見直しを行い、成績分布の状況を確認する。

添付資料（省略）

- ・社会福祉コース成績評価アンケート結果報告
- ・社会福祉学科専門教育科目 受講者数及び成績結果状況報告
- ・社会福祉コースカリキュラムツリー
- ・カリキュラムマップ

社会福祉コース成績評価アンケート結果報告

1.成績評価アンケートの結果



2.結果について

1. 社会福祉学科開設科目では、全ての項目において、「いくつもあった」と回答した者は0名でした。また、90%以上が「なかった」と回答しています（「透明性が不足する科目」：93%、「客観性が不足する科目」：94%、「妥当性が不足する科目」：93%、「公平性が不足する科目」：98%）。
2. 学年別にみると、1・3年生における自由記述において、レポートが「なんのために課せられているのかが分からなかった」「課題の評価基準」という意見が挙げられており、透明性や妥当性が不足する科目が「1つ2つあった」という回答が、他学年より若干多くなっています。シラバスに評価方法は記載していますが、授業内でも再度確認する必要性も考えられます。

社会福祉学科専門教育科目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告

2021年度の社会福祉学科専門教育科目および関連科目の各科目の受講者数及び成績結果をお知らせします。

結果について

1. 「社会福祉の歴史と思想」は単位取得者数が0名の科目です。本科目の受講者数は、2021年度は1名、2019年度は3名でした。科目の必要性や妥当性について確認してください。また多くの受講が望まれる科目である場合、対策等をとられてください。
2. 成績に「不可」が多い科目は特にありませんでした。参考までに、「不可」が受講者数の1割を超えていたのは「精神保健福祉相談援助の基盤（専門）」の1科目でした。
3. 成績Sが受講者の3分の2を超えていた科目は「社会福祉学概論Ⅰ」「学校ソーシャルワーク論」の2科目でした（演習・実習科目を除く）。評価方法や成績評価方針について確認をしてください。

※ 本コメントは、問題点を指摘するものではありません。問題がないかを確認し、問題がない場合はこれで妥当であることを説明できるようにしてください。また強化あるいは変更したほうが良い点がある場合は、具体的な対策を立てられてください。

(添付資料)

(1) 学科別成績分布

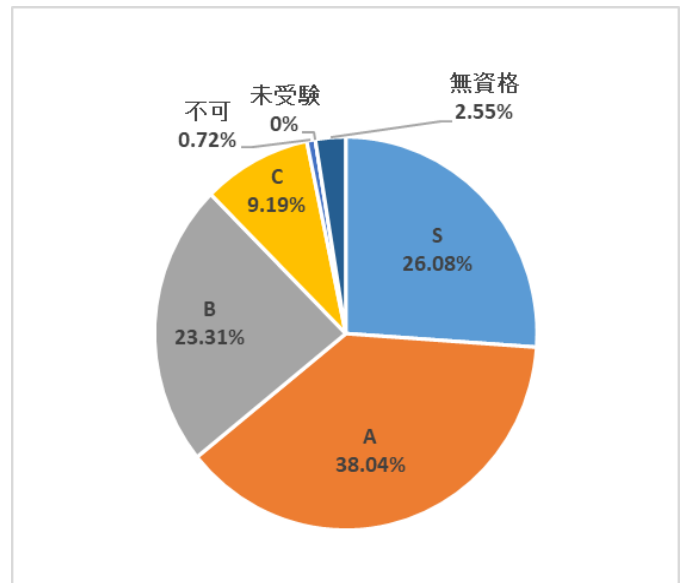
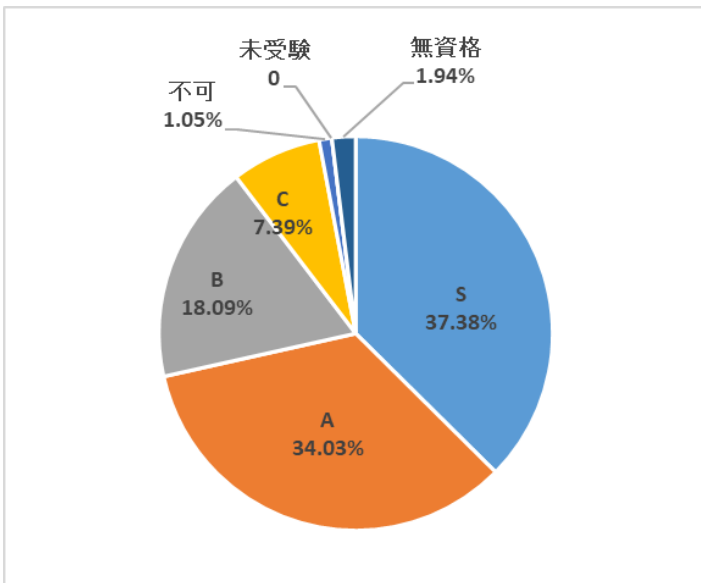


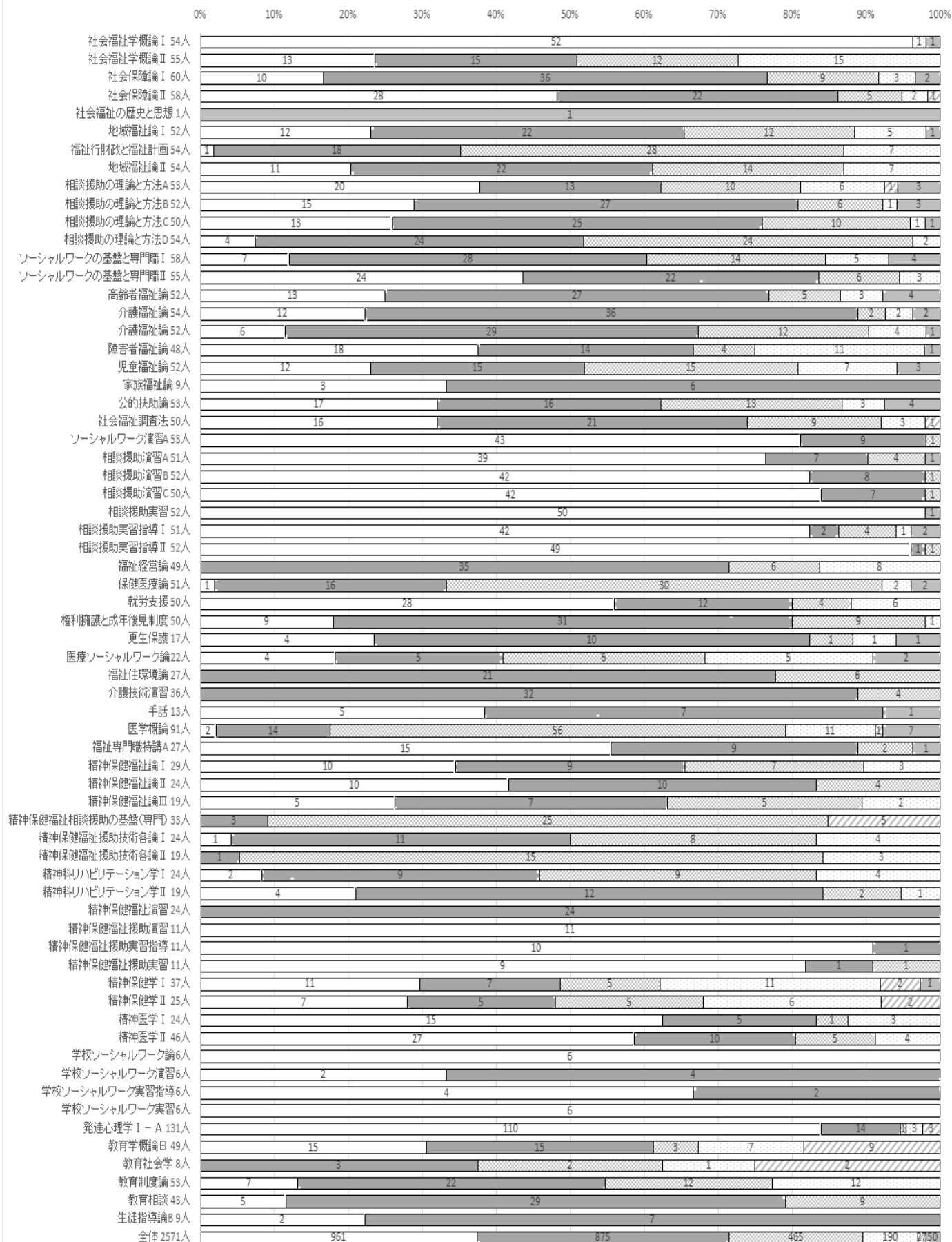
図1 社会福祉学科専門教育科目および関連科目
全体の成績分布

図2 社会福祉学科専門教育科目全体の成績分布

(2) 各授業の成績分布

各授業の成績分布

○S □A □B □C □不可 □未受験 □無資格



授業名	受講者数	S	A	B	C	不可	未受験	無資格	
社会福祉学概論Ⅰ	54	52	96.30%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.85%
社会福祉学概論Ⅱ	55	13	23.64%	15	27.27%	12	21.82%	15	27.27%
社会保障論Ⅰ	60	10	16.67%	36	60.00%	9	15.00%	3	5.00%
社会保障論Ⅱ	58	28	48.28%	22	37.93%	5	8.62%	2	3.45%
社会福祉の歴史と思想	1	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
地域福祉論Ⅰ	52	12	23.08%	22	42.31%	12	23.08%	5	9.62%
福祉行財政と福祉計画	54	1	1.85%	18	33.33%	28	51.85%	7	12.96%
地域福祉論Ⅱ	54	11	20.37%	22	40.74%	14	25.93%	7	12.96%
相談援助の理論と方法A	53	20	37.74%	13	24.53%	10	18.87%	6	11.32%
相談援助の理論と方法B	52	15	28.85%	27	51.92%	6	11.54%	1	1.92%
相談援助の理論と方法C	50	13	26.00%	25	50.00%	10	20.00%	1	2.00%
相談援助の理論と方法D	54	4	7.41%	24	44.44%	24	44.44%	2	3.70%
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	58	7	12.07%	28	48.28%	14	24.14%	5	8.62%
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	55	24	43.64%	22	40.00%	6	10.91%	3	5.45%
高齢者福祉論	52	13	25.00%	27	51.92%	5	9.62%	3	5.77%
介護福祉論	54	12	22.22%	36	66.67%	2	3.70%	2	3.70%
介護福祉論	52	6	11.54%	29	55.77%	12	23.08%	4	7.69%
障害者福祉論	48	18	37.50%	14	29.17%	4	8.33%	11	22.92%
児童福祉論	52	12	23.08%	15	28.85%	15	28.85%	7	13.46%
家族福祉論	9	3	33.33%	6	66.67%	0	0.00%	0	0.00%
公的扶助論	53	17	32.08%	16	30.19%	13	24.53%	3	5.66%
社会福祉調査法	50	16	32.00%	21	42.00%	9	18.00%	3	6.00%
ソーシャルワーク演習A	53	43	81.13%	9	16.98%	1	1.89%	0	0.00%
相談援助演習A	51	39	76.47%	7	13.73%	4	7.84%	0	0.00%
相談援助演習B	52	42	80.77%	8	15.38%	1	1.92%	0	0.00%
相談援助演習C	50	42	84.00%	7	14.00%	1	2.00%	0	0.00%
相談援助実習	52	50	96.15%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
相談援助実習指導Ⅰ	51	42	82.35%	2	3.92%	4	7.84%	1	1.96%
相談援助実習指導Ⅱ	52	49	94.23%	1	1.92%	1	1.92%	0	0.00%
福祉経営論	49	0	0.00%	35	71.43%	6	12.24%	8	16.33%
保健医療論	51	1	1.96%	16	31.37%	30	58.82%	2	3.92%
就労支援	50	28	56.00%	12	24.00%	4	8.00%	6	12.00%
権利擁護と成年後見制度	50	9	18.00%	31	62.00%	9	18.00%	1	2.00%
更生保護	17	4	23.53%	10	58.82%	1	5.88%	1	5.88%
医療ソーシャルワーク論	22	4	18.18%	5	22.73%	6	27.27%	5	22.73%
福祉住環境論	27	0	0.00%	21	77.78%	6	22.22%	0	0.00%
介護技術演習	36	0	0.00%	32	88.89%	4	11.11%	0	0.00%
手話	13	5	38.46%	7	53.85%	0	0.00%	0	0.00%
医学概論	91	2	2.20%	14	15.38%	56	61.54%	11	12.09%
福祉専門職特講A	27	15	55.56%	9	33.33%	2	7.41%	0	0.00%
精神保健福祉論Ⅰ	29	10	34.48%	9	31.03%	7	24.14%	3	10.34%
精神保健福祉論Ⅱ	24	10	41.67%	10	41.67%	4	16.67%	0	0.00%
精神保健福祉論Ⅲ	19	5	26.32%	7	36.84%	5	26.32%	2	10.53%
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	33	0	0.00%	3	9.09%	25	75.76%	0	0.00%
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	24	1	4.17%	11	45.83%	8	33.33%	4	16.67%
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	19	0	0.00%	1	5.26%	15	78.95%	3	15.79%
精神科リハビリテーション学Ⅰ	24	0	0.00%	9	37.50%	9	37.50%	4	16.67%
精神科リハビリテーション学Ⅱ	19	4	21.05%	12	63.16%	2	10.53%	1	5.26%
精神保健福祉演習	24	0	0.00%	24	100.00%	0	0.00%	0	0.00%
精神保健福祉援助演習	11	11	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
精神保健福祉援助実習指導	11	10	90.91%	1	9.09%	0	0.00%	0	0.00%
精神保健福祉援助実習	11	9	81.82%	1	9.09%	1	9.09%	0	0.00%
精神保健学Ⅰ	37	11	29.73%	7	18.92%	5	13.51%	11	29.73%
精神保健学Ⅱ	25	7	28.00%	5	20.00%	5	20.00%	6	24.00%
精神医学Ⅰ	24	15	62.50%	5	20.83%	1	4.17%	3	12.50%
精神医学Ⅱ	46	27	58.70%	10	21.74%	5	10.87%	4	8.70%
学校ソーシャルワーク論	6	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
学校ソーシャルワーク演習	6	2	33.33%	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%
学校ソーシャルワーク実習指導	6	4	66.67%	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%
学校ソーシャルワーク実習	6	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
発達心理学Ⅰ-A	131	110	83.97%	14	10.69%	1	0.76%	3	2.29%
教育学概論B	49	15	30.61%	15	30.61%	3	6.12%	7	14.29%
教育社会学	8		0.00%	3	37.50%	2	25.00%	1	12.50%
教育制度論	53	7	13.21%	22	41.51%	12	22.64%	12	22.64%
教育相談	43	5	11.63%	29	67.44%	9	20.93%	0	0.00%
生徒指導論B	9	2	22.22%	7	77.78%	0	0.00%	0	0.00%
全体	2571	961	37.38%	875	34.03%	465	18.09%	190	7.39%

社会福祉コース カリキュラムツリー

2022年度入学生版

領域	知識・技能		思考・判断・表現	主体性・多様性・協働性
	DP1	DP2	DP3	DP4
ポリシー	□現代において求められる幅広い基礎的教養を有している。 □社会福祉、ソーシャルワークおよび隣接諸科学に関する専門知識を有している。	□現代において求められる汎用的技能を身につけている。 □専門的な価値と知識に基づくソーシャルワークの技能を身につけている。 □社会福祉に関する問題について、先行研究や各種の資料を適切に収集し、分析できる。	□現代における諸問題について、幅広い分野の知識をもとに、必要な情報を収集、分析し、表現することができる。 □社会福祉に関する問題を根拠に基づいて論理的に考察し、自分なりの結論を導き出すことができる。 □社会福祉に関する問題を探求し、その成果を適切に表現することができる。	□異なる文化や価値観を理解し、これらを尊重しながら他者と共に生きていく姿勢を身につけている。 □社会福祉に関する問題について主体的に検討し、課題解決に取り組む力を身につけている。 □社会福祉に関わる人々の多様性を尊重し、実際に多様な人々と協働することができる。



4年次	社会福祉の歴史と思想 卒業論文	福祉専門職特講B	▲精神保健福祉援助演習 ▲精神保健福祉援助実習指導 ▲精神保健福祉援助実習	◆学校ソーシャルワーク演習 ◆学校ソーシャルワーク実習指導 ◆学校ソーシャルワーク実習 ◆教育相談 ◆生徒指導論B		
3年次	●▲地域福祉論Ⅱ ●ソーシャルワークの理論と方法D 社会福祉学演習	●福祉経営論 ●▲更生保護 ●▲権利擁護と成年後見制度 ●ソーシャルワーク演習C ●ソーシャルワーク演習D ●ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ●ソーシャルワーク実習B 子ども家庭福祉論B 医療ソーシャルワーク論 介護技術演習 福祉専門職特講A	▲ソーシャルワークの理論と方法E ▲ソーシャルワークの理論と方法F ▲精神障害リハビリテーション論 ▲精神保健福祉制度論 ▲精神保健福祉援助演習 ▲精神保健福祉援助実習指導 ▲精神保健福祉援助実習 ▲精神医学Ⅰ ▲精神医学Ⅱ	◆学校ソーシャルワーク論 ◆学校ソーシャルワーク演習 ◆学校ソーシャルワーク実習指導 ◆教育社会学 ◆教育制度論	地方自治論 福祉社会学 地域社会学B NPO論 老年心理学 老年期医学 *データ処理とデータ解析Ⅰ *データ処理とデータ解析Ⅱ *プログラミング演習 *情報検索システム論	他4科目
2年次	●▲地域福祉論Ⅰ ●▲ソーシャルワークの理論と方法A ●▲ソーシャルワークの理論と方法B ●ソーシャルワークの理論と方法C	●高齢者福祉論 ●▲障害者福祉論 ●子ども家庭福祉論A ●公的扶助論 ●▲社会福祉調査法 ●ソーシャルワーク演習B ●ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ●ソーシャルワーク実習A ●▲保健医療論 介護福祉論 福祉住環境論	▲精神保健福祉の原理Ⅰ ▲精神保健福祉の原理Ⅱ ▲◆精神保健学Ⅰ ▲精神保健学Ⅱ ▲精神保健福祉演習		倫理学 コミュニティ論 社会病理学 *情報数学 *Webデザイン演習 *プログラミング概論 *データベース論 *情報ネットワーク論 *問題解決演習	他9科目
1年次	●▲社会福祉学概論Ⅰ ●▲社会福祉学概論Ⅱ ●▲社会保障論Ⅰ ●▲社会保障論Ⅱ ●▲ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ ●ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	●▲医学概論 ●ソーシャルワーク演習A 手話		◆発達心理学Ⅰ-A ◆教育学概論B	地域社会学A 発達心理学Ⅱ 社会心理学 人格心理学 対人心理学	
標準履修年次	基幹科目	社会福祉専門科目	精神保健福祉専門科目	学校ソーシャルワーク専門科目	関連科目	
社会福祉学科専門教育科目						

下線…卒業必修科目 ●…社会福祉士指定科目 ▲…精神保健福祉士指定科目 ◆…スクール（学校）ソーシャルワーク指定科目 *…総合人間社会コース科目

社会福祉コース カリキュラムマップ (新カリ)

授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期 (標準履修年次)				備考	DP1	DP2	DP3	DP4
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次					
基幹科目	社会福祉学概論 I	2	講義	2					○			
	社会福祉学概論 II	2	講義	2					○			
	社会保険論 I	2	講義	2					○			
	社会保険論 II	2	講義	2					○			
	社会福祉の歴史と思想	2	講義				2		○			
	地域福祉論 I	2	講義		2				○			
	地域福祉論 II	2	講義			2			○			
	ソーシャルワークの基礎と専門職 I	2	講義	2					○			
	ソーシャルワークの基礎と専門職 II	2	講義	2					○			
	ソーシャルワークの理論と方法 A	2	講義		2				○			
	ソーシャルワークの理論と方法 B	2	講義			2			○			
	ソーシャルワークの理論と方法 C	2	講義				2		○			
	ソーシャルワークの理論と方法 D	2	講義					2	○		○	○
	社会福祉学演習	2	演習					2		○	○	○
	卒業論文	6	演習					6				
社会福祉専門科目	高齢者福祉論	2	講義		2				○			
	介護福祉論	2	講義		2				○			
	障害者福祉論	2	講義		2				○			
	子ども家庭福祉論 A	2	講義		2				○			
	子ども家庭福祉論 B	2	講義			2			○			
	公的扶助論	2	講義		2				○			
	社会福祉調査法	2	演習		2				○			
	ソーシャルワーク演習 A	1	演習	1						○	○	
	ソーシャルワーク演習 B	2	演習		2					○	○	
	ソーシャルワーク演習 C	1	演習			1				○	○	
	ソーシャルワーク演習 D	1	演習				1			○	○	
	ソーシャルワーク実習指導 I	2	演習		2					○	○	
	ソーシャルワーク実習指導 II	1	演習			1				○	○	
	ソーシャルワーク実習 A	2	実習		2					○	○	
	ソーシャルワーク実習 B	4	実習			4				○		○
	福祉経営論	2	講義			2				○		
	保健医療論	2	講義		2					○		
	権利保障と成年後見制度	2	講義		2					○		
	更生保護	2	講義		2					○		
	医療ソーシャルワーク論	2	講義		2					○		
	福祉住環境論	2	講義		2					○		
	介護技術演習	1	演習			1					○	○
	手話	1	演習	1							○	○
	医学概論	2	講義		2					○		
	福祉専門職特講 A	2	講義			2				○		
福祉専門職特講 B	2	講義				2			○			
精神保健福祉の原理 I	2	講義		2					○			
精神保健福祉の原理 II	2	講義		2					○			
ソーシャルワークの理論と方法 E	2	講義			2				○			
ソーシャルワークの理論と方法 F	2	講義				2			○			
精神障害リハビリテーション論	2	講義		2					○			
精神保健福祉制度論	2	講義		2					○			
精神保健福祉演習	1	演習		1						○	○	
精神保健福祉援助演習	4	演習			4			3年前期～4年後期		○	○	
精神保健福祉援助実習指導	3	演習			3			3年前期～4年後期		○	○	
精神保健福祉援助実習	5	実習			5			3年後期～4年後期		○	○	

授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期 (標準履修年次)				備考	DP1	DP2	DP3	DP4
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次					
福・健 科 目	精神保健学 I	2	講義	2					○			
	精神保健学 II	2	講義		2				○			
	精神医学 I	2	講義			2			○			
	精神医学 II	2	講義			2			○			
学 校 ソ シ ャ ル ワ ー ク 論	学校ソーシャルワーク論	2	講義			2				○	○	
	学校ソーシャルワーク演習	2	演習			2		3年後期～4年前期		○	○	
	学校ソーシャルワーク実習指導	2	演習			2		3年後期～4年前期		○	○	
	学校ソーシャルワーク実習	2	実習				2			○	○	○
関 連 科 目	発達心理学 I-A	2	講義	2					○			
	教育学概論 B	2	講義	2					○			
	教育社会学	2	講義		2				○			
	教育制度論	2	講義		2				○			
	教育相談	2	講義			2			○			
	生徒指導論	2	講義			2			○			
	倫理学	2	講義		2				○		○	
	地方自治論	2	講義		2				○		○	○
	仕事の経済学	2	講義		2				○	○		
	暮らしの経済学	2	講義		2				○			
	現代社会論 A (ジェンダー・世代)	2	講義		2				○			
	現代社会論 B (情報社会論)	2	講義		2				○		○	
	福祉社会学	2	講義			2			○	○		
	地域社会学 A	2	講義	2					○	○		
	地域社会学 B	2	講義			2			○	○		
	コミュニティ論	2	講義		2				○	○	○	
	NPO論	2	講義		2				○	○	○	○
	発達心理学 II	2	講義	2					○			
	老年心理学	2	講義		2				○			
	老年期医学	2	講義		2				○			
	社会病理学	2	講義		2				○		○	
	社会心理学	2	講義	2					○			
	データ処理とデータ解析 I	1	演習			1		*		○	○	○
	データ処理とデータ解析 II	1	演習			1		*		○	○	○
	家族社会学 A	2	講義		2				○	○	○	
家族社会学 B	2	講義		2				○	○	○		
生涯教育論	2	講義		2				○				
社会教育論	2	講義		2				○				
人格心理学	2	講義	2					○				
対人心理学	2	講義	2					○				
情報数学	2	講義		2			*	○				
Webデザイン演習	1	演習		1			*		○			
プログラミング概論	2	講義		2			*					
データベース論	2	講義		2			*					
情報ネットワーク論	2	講義		2			*					
プログラミング演習	1	演習		1			*		○			
情報検索システム論	2	講義		2			*					
問題解決演習	1	演習		1			*		○			
人的資源管理論	2	講義		2			*					
キャリア論	2	講義		2			*					
組織マネジメント	2	講義		2			*					
ビジネス倫理	2	講義		2			*					
個人情報法	2	講義		2			*					

注：*は総合人間社会コースの科目。

【科目とDPの関係イメージ】

○講義科目 (必修/選択)・・・DP1

○演習科目 (選択・福祉系資格)・・・DP2、DP3

○実習科目 (選択・福祉系資格)・・・DP2、DP4

○社会福祉学演習 (必修・3年ゼミ)、卒業論文 (必修・4年ゼミ)・・・DP2、DP3、DP4

※福祉系資格を全く取得しない学生でもDP1～4に対応できるように設定する。